

農山漁村の起業促進施策「INACOME」における 地域課題の募集等

Web説明会資料

2020年10月13日
農林水産省大臣官房政策課

次第

1. INACOMEとは

2. 地域課題の募集について

趣旨

- 農山漁村が活力と取り戻し、持続的な発展を実現するためには、多様な事業が営まれ、**雇用と所得**が生み出されていることが必要。
- このため、新たな農山漁村活性化策として、**農山漁村の資源とやる気溢れる人材、必要な資金**を組み合わせ、地域に新たなビジネスの創出を促す『INACOME（イナカム）』を実施。

何が新しいのか…

従来の補助金型の支援ではなく、

民間事業者の知見やノウハウを導入して、

新たなイノベーションを促進させる事業

経緯

【平成30年度】
農山漁村の起業者が抱える課題の明確化

【令和元年度】
Webプラットフォーム等を通じた起業支援の課題の明確化

食料・農業・農村基本計画にINACOMEの趣旨を反映

コロナショック

【令和2年度】
地域課題とのマッチング×コロナ禍を踏まえた新たな農山漁村

食料・農業・農村基本計画の関係部分

(令和2年3月閣議決定)

3. 農村の振興に関する施策

(1) 地域資源を活用した所得と雇用機会の確保

② 地域資源の発掘・磨き上げと他分野との組合せ等を通じた所得と雇用機会の確保

ア 農村発イノベーションをはじめとした地域資源の高付加価値化の推進

農村を舞台として新たな価値を創出し、所得と雇用機会の確保を図るため、「農村発イノベーション」(活用可能な農村の地域資源を発掘し、磨き上げた上で、これまでにない他分野と組み合わせる取組)が進むよう、農村で活動する起業者等が情報交換を通じてビジネスプランを磨き上げることができるプラットフォームの運営など、多様な人材が農村の地域資源を活用して新たな事業に取り組みやすい環境の整備などにより、現場の創意工夫を促す。

(以下、省略)

農山漁村の起業家が抱える課題

	起業家・起業支援団体等からのコメント	浮かび上がった課題
ヒト (人材面)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地元では起業の相談ができない。先輩・同業者がいないため聞ける人がいない</u>【起業家】 ・ 地方の起業家には相談する相手がない。孤独で悩んでいるという起業家の声を聞く ・ 他の起業家のプレゼンを聞く機会があると、自分のビジネスプランの参考になり、非常に役立つ【起業家】 	<u>起業家の意見交換の場の必要性</u>
モノ (地域・制度面)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>田舎で新しいことをやろうとすると手順や手段が必要</u>になり、それが地域の衰退につながっていると感じる【起業家】 ・ 今回農林水産省のプログラムに参加し最終選考に残ったことで風向きが変わった。<u>地方では肩書や権威があるだけで対応を変える人が多いと実感している</u>【起業家】 	<u>地域の閉鎖性と、外の場があることによる解決の可能性</u>
カネ (資金面)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>資金調達方法はあれど、橋渡し役がないと苦労</u>する【起業家】 ・ 立ち上げに際して、資金面で上手く動けていないケースが多い。活用可能な制度は多くあるのに、自分の周囲だけで調べて行き着かずに諦めるケースが多い【起業支援団体】 	<u>資金調達面での困難性</u>

Webプラットフォーム「INACOME」



コミュニティ機能

自分のニーズに合った地域内外のコミュニティに参加して情報交換できる！

メンバー & 支援者検索

全国の同業者や、地域の起業家・支援団体・有識者と繋がることできる！

動画セミナー

起業や事業拡大に役立つセミナーを自宅で受講できる！

事例記事

全国各地の起業・新規事業展開の成功事例を学べる！

イベント案内

経営支援や資金調達支援など様々なイベントの情報が手に入る！

INACOME起業者例①



AI活用の自動収穫ロボットで収益最大化

高橋 慶彦 <宮崎県新富町>

AIを活用したピーマンの自動収穫ロボットを開発し、収集するデータを分析・活用して、農業者の収益の最大化を目指す

- 元々は農業者から出された意見がきっかけで、自動収穫ロボットのビジネスをスタート
- INACOMEのピッチ後は、スマート農業の実証プロジェクトに参加して、事業展開を加速
- スタートアップの登竜門といわれ「IVS LaunchPad」で入賞するなど、数々の成績を残す



INACOME起業者例②



おてつたび

～季節的・短期的な人手不足を人と人の出会いに変える～

永岡 里菜 <東京都世田谷区>

短期的な人手不足に困る農業者と、地域外の若者をマッチングするプラットフォームを運営

- 全国どこでも、行ってみれば素敵なおところがあり、知るきっかけがないことが機会損失
- 誰かにとって特別な地域を創るために、お手伝いを通じて関わるフローを展開
- 農業者の短期的な労働力不足を補うだけでなく、就農希望者の第一歩をサポート

「季節労働」や「出稼ぎ」という言葉のリブランディング



INACOME起業者例③



飲めば飲むほど海がキレイになるビール

濱田 祐太 <京都府与謝野町>

町内で生産するホップを原料に、地域の環境課題である「牡蠣殻」をろ過材として使用したクラフトビールを醸造

- 地域に新しいビジネスを生み出す中間支援組織として大学在学中に起業
- 地域課題の牡蠣殻の処理と、地域産ホップの高付加価値化を両方を実現するために、クラフトビールの醸造にチャレンジ
- 原料調達先である農業者をサポートするために、ホップレンジャープロジェクトを展開



INACOME起業者例④



**農の入口と出口づくりで就農者を増やす！
畑と人を繋ぐ「たんとスープ」で6次産業化**

大西 千晶 <京都府南丹市>

農家直営スープ専門店の多店舗展開に挑戦し、新規就農者の増加を目指す

- 「新しい経済のあり方」を追求するために、20歳の時に環境保全型農業で起業
- スープ店の多店舗展開により、農業現場にかかわる人を増やし、農業を通じた社会課題の解決を目指す



2. 地域課題の募集について

地域課題の募集

➤ 応募対象者

事業展開する地域が明確であり、
起業者とのマッチングを通じて地域課題の解決を目指す
自治体・NPO法人・一般社団法人等であれば、どなたでも応募可能

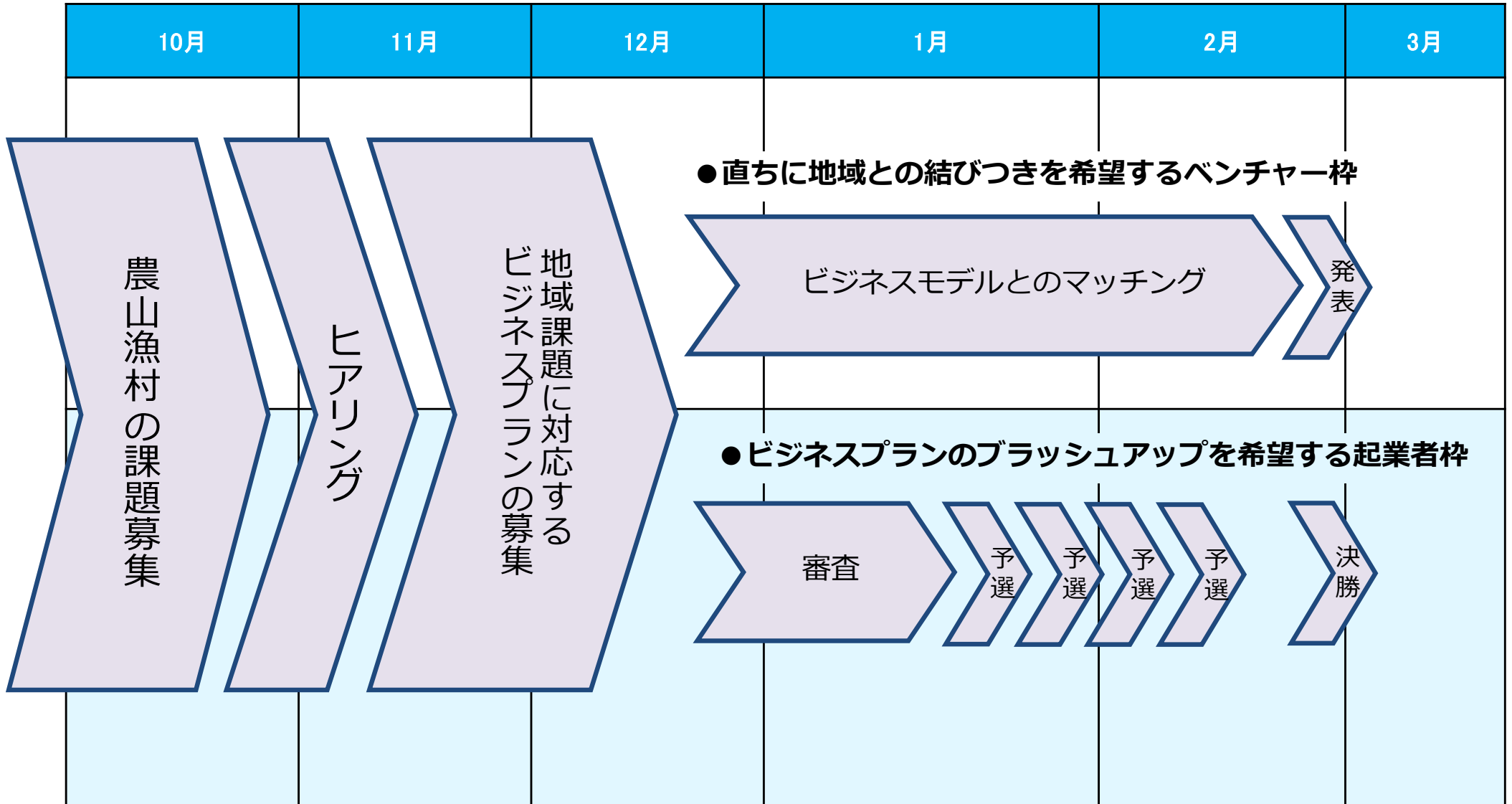
➤ 募集期間

2020年9月29日（火）～10月22日（木）

➤ 応募方法

指定のフォームに入力するのみ！

今後のスケジュール



Q&A

- 農山漁村の定義はありますか？
- どのような地域課題であれば応募できますか？
- 応募者はどのような対応を求められますか？
- どのような起業者とマッチングできますか？

Q&A

➤ 農山漁村の定義はありますか？

INACOMEにおいては、農山漁村の定義を明確に定めておりませんが、農林水産業と関係性のある地域を想定しています。

Q&A

➤ どのような地域課題であれば応募できますか？

農林水産業と関連性のある地域課題であれば応募可能です。また、地域課題が具体的に表現されている方が望ましいですが、課題の明確化等については農林水産省との打合せの中でサポートする予定です。

Q&A

➤ 応募者はどのような対応を求められますか？

実際に起業者等が地域課題の解決に向けた事業を展開することとなった場合は、起業者への情報提供やネットワーク提供、実証フィールドの提供など、事業展開の伴走支援等にご対応いただく考えです。

Q&A

➤ どのような起業者とマッチングできますか？

INACOMEに加入する起業者等に対して、応募いただいた地域課題を解決できるビジネスプランを募集いたします。

また、2021年2月頃には、応募いただいた地域課題をテーマとしたビジネスプランコンテストを開催する予定ですので、コンテストに出場する起業者等をマッチングできる可能性もあります。

留意点

- 本プログラムは、地域関係者と起業者、農林水産省が協働で地域課題の解決を目指すものです。
- 応募内容に応じて取り扱う地域課題を選定させていただきますが、その際は地域側のサポート（情報提供、ネットワーク共有、実証フィールドの提供など）等を指標として判断いたします。